市民のページ

文芸たかはし

短歌

藪椿春の淡雪葉にのせて紅の花楚楚として咲く　梅野　八郎（松　山）

ほろにがき味の恋しく雪を分け蕗の芽さがす春はまだかと　亀石恵美子（川上町仁賀）

引退の試合終えたるユニフォームうつむきながら帰り来る　小見山佐美恵（落合町阿部）

幼等はみな鳥となり飛び立ちぬ伝えしリズム忘れな永遠に　坂田　昭夫（松原町）

早春と言ふ文字の温もり待つ吾に陽差し浴びつつ紅梅ひらく　平　初音（高倉町田井）

春立ちてとなりの若き人の部屋建築の音棟上げ佳き日　田中　弘子（川上町領家）

友描く酉の水墨眺めつつひと日も早い御快癒祈る　西井百合子（横　町）

日めくりの暦の詩に如月の梅の香匂ふ望月の頃　原田　由き（高倉町飯部）

俳句

古き家の雨戸きしませ雪しずる　長原　茂子（備中町西油野）

残雪や古塔染めるる夕茜　藤森　末子（有漢町上有漢）

足下がやさしくなりぬ雪のあと　結城　成子（宇治町宇治）

川柳

両陛下御手を振らるる初相撲　父母よりも長生きしてます九十一　中島　清市（成羽町出身）

発明の力よし悪し今の世は　藤井タツ子（備中町西山）

（敬称略）

地名をあるく

五、備中

今回は、旧川上郡備中町の「備中」という行政地名を取り上げてみたいと思います。

「備中町」は、成羽川の上・中流域にあって、東は成羽町と宇治町、西は広島県境で神石郡神石高原町に接し、南は川上町、北は阿哲郡哲多町と哲西町に接しています。備中町のほとんどは隆起準平原といわれる四五〇～六〇〇mの吉備高原上に集落が散在して、侵食小起伏面の地形が広がる地域であります。もう一つの特色は、吉備高原を開折する成羽川の河谷はV字状に谷壁斜面を深く削り込む、穿入曲流（穿入蛇行）を示していて、河成段丘面がほとんどない峡谷地形であります。「備中町」の地形は吉備高原の特徴をよく表している場所として、日本で代表的な地域なのです。

備中町の歴史は古く「和名抄」に記載されている備中国下道郡の北部地域五郷が分かれ鎌倉時代に川上郡ができて、五郷が記録されています。その後、「備中町」が大半を占める「穴門（戸）郷」が加わり六郷となっています。それは「吉備津宮惣解文」や「流鏑馬料足納帳」（「岡山県古文書集」）などに康正三年（一四五七）や長禄二年（一四五八）の年号とともに「ふせ」や「由野」、「穴斗」などの地名が見えています。「穴戸郷」は、現在の平川に本郷の地名が残っていて中世には「穴戸郷の中心が平川だった」（「備中町史」）といわれています（布賀亀石八幡宮棟札には布賀としている）。

「備中町」は「川上郡誌」によると以前の「湯野郷」には東湯野、西湯野、西山の各村が後の「湯野村」となり、「穴門郷」は布賀、長屋、布瀬、志藤・用瀬の各村が後に「富家村」となり、「穴門郷」平川村は後の「平川村」となって湯野、富家、平川の三村が昭和三一年合併して「備中町」となっています。

「備中町」には、文化財も多く、鎌倉時代徳治二年（一三〇七）、高瀬舟の航路開発の難工事に関する記念碑「笠神の文字岩」（国指定史跡）、また、室町時代初期の布賀亀石八幡宮裏山にある応永銘の方柱碑、そして、建武三年（一三三六）に平川高親が近江から穴門郷に移って来たとき勧請したといわれる平川の鋤崎八幡宮、そして、秋祭りの渡り拍子などが有名です。また、この地域では、江戸時代初めより高瀬舟による水運が開け、田原・惣田河岸まで「是迄川船上ル」（「正保備中国絵図」）と記録され通船が行われて栄えていました。

川沿いには河岸が発達し高原上の物資を急坂の多い「野呂の道」を人と畜力（牛・馬）によって運び出し、高瀬舟により輸送したのです。今でも河岸のあった面影が点点と残っているのです。

「備中」という行政地名は、南北通してみると備中の国のほぼ中央に位置しているところから備中国の国名を取ってつけられた地名なのです。備中国は古代七世紀後半に吉備国だった地域が三分され、都に近い方から備前、備中、備後が成立しました。その備中国の国名を記念して、「備中町」の地名としたのです。

（文・松前俊洋さん）

V字谷の成羽川と吉備高原(黒鳥、布賀付近)

2月号に誤りがありました。下段14～17行目を「…村が書かれ、その後１１か村となり、昭和二九年の町村合併では、手荘町、高山村、大賀村の一町二村が合併し川上町が成立。当時の…」と訂正します

GALLERY ギャラリー

「押し花」押し花
石田 由紀子さん（有漢町有漢）

「鯉の滝のぼり」押し花
山本 弘子さん（川上町領家）

「啼鳥空林一家」水墨南画
渡邉 寛興（ひろおき）さん（成羽町下原）

ミニ★トピックス

セツブンソウ（2月24日撮影　成羽町布寄にて）

＜解説＞
節分のころに咲くキンポウゲ科の多年草。高さは5～15㌢で花は直径2㌢ほど。
群生地は山すそに10㌃ほどあり2月初めに咲きはじめ、見ごろは3月初めまで。
生息地の環境変化に対する適用力が弱く、絶滅危惧種に指定されている貴重な植物。

「秋の蒜山」油絵
武並 啓子さん（備中町布賀）

☆ 作品の募集について ☆

自作の川柳、短歌、俳句、絵手紙、町の風景写真、絵画など
○未発表の作品に限ります。
○一人一作品とします。
○絵画は、その写真をお送りください。
○住所・氏名・電話番号・年齢を明記のうえ、お送りください。
※締め切り　掲載号の前月の末日（必着）

【送り先】〒716－8501（宛先住所不要）
高梁市役所企画課公聴広報係
※応募多数の場合は、紙面に掲載できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
※提供いただいた写真等は返却できません
Y企画課公聴広報係　TEL㉑0210
Eメール：kikaku@city.takahashi.okayama.jp